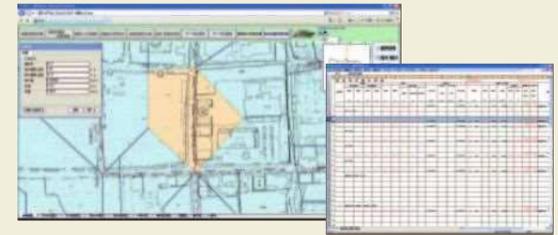




流量情報

画面上に区画割平面図を呼び出すことができます。各区画割をクリックすることで、その位置の総水量、計画管の流速や流量を確認することができます。

- 区画割平面図・流量計算書の情報
処理面積・延長・計画流量など



維持管理情報

住民からの通報や日常管理の清掃や補修などの情報を入力することができます。これらの情報はデータベースに書き込まれ、後で一覧表などに出力することが可能です。

- 浚渫・清掃の維持管理情報
作業位置・委託業者・作業内容や方法など



株式会社 **アスコ大東** www.as-dai.co.jp

大阪本社 下水道部
〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14
イトツビル2階
TEL : 06-6282-0310(代)
: 06-6282-0314(直)
FAX : 06-6282-0311

奈良支社
〒634-0813 奈良県橿原市四条町279-1
TEL : 0744-21-0041(代)
FAX : 0744-21-0031

神戸支社
〒657-0841 神戸市灘区灘南通5-4-15
TEL : 078-871-5611(代)
FAX : 078-871-5541

東京本社 下水道部
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-19
住友生命日本橋富沢町ビル7階
TEL : 03-5641-2181(代)
: 03-5641-2182(直)
FAX : 03-5641-2187

劣化調査情報・
診断情報

調査表だけでなく試験結果や画像データなども管路や人孔、取付管、公共枳毎に登録管理することが可能です。また、それらの情報をいつでも呼び出すことができます。

- 管路内の調査・診断の情報
調査表・腐食状況・管路の残存強度結果・画像／映像データなど



地震対策情報



- 地震対策・耐震診断の情報
管路の地震対策情報・地震対策内容・人孔浮上抑制対策状況など

改築・修繕
工事履歴

- 改築・修繕などの
工事履歴
改築年度・改築工法・改築後の施設情報・
修繕箇所的位置図・施工業者など

【支店】
札幌支店、東北支店、埼玉支店、千葉支店、新潟支店、名古屋支店、和歌山支店、九州支店、沖縄支店、茨城支店
【営業所】
盛岡、秋田、群馬、神奈川、福井、長野、静岡、浜松、豊橋、岐阜、関、各務原、三重、滋賀、京都、京都北、京都南、岡山、広島、山口、徳島、高松、松山、久留米、熊本、宮崎、佐賀
【事務所】
東大阪、姫路、豊岡、奈良、五條、香芝

【加盟団体】 建設コンサルタンツ協会／全国上下水道コンサルタンツ協会／日本下水道協会／
管路診断コンサルタンツ協会／日本下水道管路管理業協会／日本測量協会

下水道施設の
ストックマネジメントをサポート



下水道維持管理情報を
一元管理で見える化

下水道の情報を一元管理し、

ストックマネジメント & 耐震化 & 企業会計 を支援します。

アスシス ASSYS 下水道情報管理システム

従来の下水道台帳が持つ施設情報に維持管理情報などを合わせ、それらのデータを一元管理するシステム。

さらにストックマネジメント計画や総合地震対策計画をサポートします。

搭載したGIS※により地図上から欲しい情報を取り出せ、LCC(ライフサイクルコスト)の算定や予算の平準化に活用できます。

※GIS(地理情報システム): 地図に情報を関連づけて活用する情報システム

従来の下水道台帳

- 施設の基本情報
- 地図・図面情報

- 地震対策情報
- 改築・修繕工事履歴
- 固定資産台帳の整理

導入のメリット

- 維持管理台帳** システムにより、下水道施設の一元管理が可能
検索機能により、施設状況の把握が容易
- 老朽化調査結果** TVカメラ調査等の膨大な紙媒体がシステムに収納可能
帳票の様式を固定することで、一括取込み
- ストックマネジメント** シミュレーションにより予算の平準化が容易に可能
- 総合地震対策** 総合地震対策に該当する路線の抽出が可能
検索機能や追跡機能により、災害時の路線検索が容易

必要な情報がすぐに取り出せます。 下水道情報管理システムの管理情報一覧

● 施設の基本情報	人孔番号、管路番号、施工年度、施工法、管種、管径、人孔間距離、勾配、管底高、地盤高
● 地図・図面情報	平面図、縦断面図、区画割(流域)、市街化区域、市街化調整区域、集水区域
● 流量情報	処理区、処理分区、面積、路線番号、補助対象範囲
● 維持管理情報	清掃履歴、通報履歴、浸水履歴、修繕履歴、硫化水素情報、陥没、油脂、臭気
● 劣化調査情報	調査年度、TVカメラ調査表、目視調査表、Con強度調査表、調査写真
● 診断情報	診断年度、スパン毎の評価、スパン毎の緊急度、施工法の検討
● 地震対策情報	液化化区分、耐震性の有無、地震対策工事履歴、施工年度、施工法
● 改築・修繕工事履歴	改築年度、更生管径、施工法など
● スtockマネジメント	リスク評価、改築事業量のシミュレーション、スパン毎の対策方法、財政計画、維持管理計画
● 総合地震対策計画	対象路線の選定、計画予定年度、スパン毎の対策方法、総合地震対策財政計画
● 固定資産台帳の整理	固定資産調査・評価、固定資産台帳、減価償却計算、貸借対照表への支援

さまざまな情報をもとに
計画書の作成をサポートします。

● スtockマネジメント

劣化予測、リスク評価、緊急度判定、LCC比較などを支援。

● 総合地震対策計画

耐震化計画(防災)や被災時の点検計画(減災)を支援。

● 公営企業会計

経営の健全性や計画性および透明性の向上に向けた支援。

ストマネ計画

点検調査

診断

修繕・改築計画

ストックマネジメント計画策定支援システム

ストマネ計画 Step1

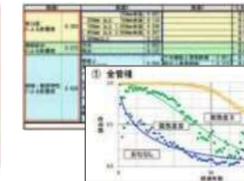
リスク評価や改築事業量の検討

リスク評価および改築事業量のシミュレーションなどの計画策定を支援します。

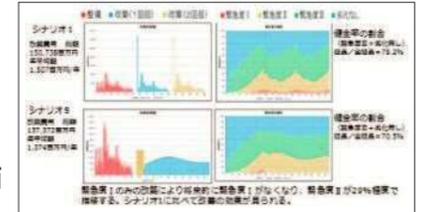
リスクマトリクスによる評価



AHP(影響度) + 健全度予測式(発生確率)による評価



シナリオシミュレーション結果例



システムによるメリット

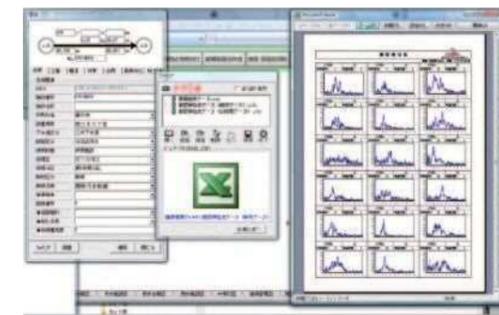
手作業では大変な、シミュレーションの繰り返しをシステムで容易に実施します。

点検調査 Step2

点検・調査結果の蓄積

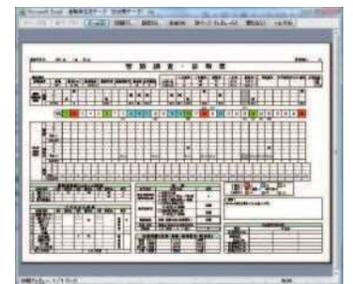
点検・調査データをファイリングし閲覧できます。

ファイリングデータ



衝撃弾性波データ(解析)

衝撃弾性波データ(診断票)



システムによるメリット

膨大な点検・調査結果を蓄積することでデータの利活用効率化を図ります。

診断 Step3

管渠の診断

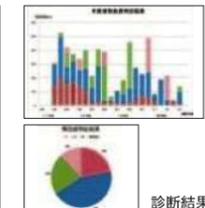
不良発生率、スパン全体評価(A・B・C)、緊急度(I・II・III)を診断

老朽化を自動診断

管渠不良箇所から不良発生率(A・B・C)と、緊急度(I・II・III)を自動的に診断。

診断結果の集計機能

管渠緊急度別集計・管渠劣化項目別集計などの表を作成。



診断結果一覧

システムによるメリット

システムの利用により、異常の程度診断および緊急度の判定の作業工数を大幅に削減できます。

修繕・改築計画 Step4

修繕・改築計画の検討

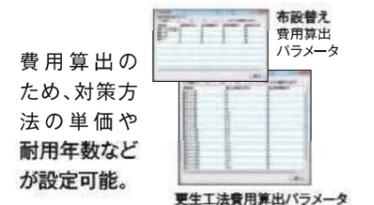
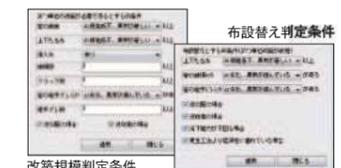
(部分補修・布設替え・更生工法)

老朽化診断結果から対策方法を決定

改築時期や対象範囲を地図上で決定。



スパン単位での改築と布設替えを判定する劣化条件の組み合わせを定義。



システムによるメリット

診断結果から、部分補修・布設替え工法・更生工法の中から最適な方法を自動で選定します。同時にLCC改善額も計算できます。